

# けんすい (No.4)



仙台市中学校教育研究会養護教育部会  
研究推進委員会だより 2022/10/7  
文責 研究推進委員長(錦ヶ丘中)

## 第2回研究会の講演内容に関する質疑応答

アンケートで寄せられた質問について、講師の先生から御回答を頂きました。

### 【質問1】

近視治療のためにコンタクトレンズを寝る前に装着している生徒がいます。具体的なエビデンスはないとのことでしたが、なぜ夜間にといった疑問を感じておりました。オルソケラトロジーについて効果や安全性について教えてください。

⇒ オルソケラトロジーですが、一気に広まっております。角膜をコンタクトレンズで押さえつけることで、平にして近視を一時的に直すという方法です。やめれば元に戻ってしまいますので、ずっと続ける必要があります。一方、コンタクトを装用したまま寝ると、コンタクトに付着したばい菌が増加し、角膜感染症になるリスクが100倍に上がります。その辺説明されてから、同意して治療を始めていると思いますが、是非違和感や充血があるときには病院の受診を進めます。

### 【質問2】

仮性近視との診断を受け、2～3年もの間、眼科に通院し目薬を処方され点眼を続けている生徒がいます。視力の矯正もC以上には調節しない方が良いと言われていたようです。このままで良いのでしょうか。目薬で調整する期間の目安を教えてください。

⇒ 目薬の効果は個人差があり、時に効果が大きい人もいます。点眼をやめることで再度近視化するようであれば、継続される方もいます。いつまでという目安はありません。近視が強くなると点眼の効果も薄れてくるので(遠くを見るのと同じ作用です)、中学になればそろそろやめてもいいかもしれません。

### 【質問3】

中学校では、視力検査を行う機会が春の1回は必須となっています。今後、積極的に視力検査を年2回実施するなど視力低下の進行を把握した方が良いでしょう。先生のご意見をお聞かせいただきたいです。

⇒ 今後自発的に自宅でアプリなどで視力を測ってもらうのもいいかもしれません。アルミンというロート製薬の無料アプリなどもあります。東北大学でも近視予防のための研究活動を開始したいと考えており、協力いただける施設を募集しています。

### 【質問4】

カラーコンタクトレンズがドラッグストアや雑貨屋でも販売されており、子供たちも何の疑いもなく使用しているようですが、使用上の注意(使用期限を守る、衛生に気をつける、使い切りにするなど)を守ればおしゃれ雑貨として使用していて問題はないのでしょうか。マスク生活に慣れてきて、カラーコンタクトレンズだけでなくアイプチやアイテープの使用など、見た目へ執着する子供が増えているように感じますが「使用しない!」という指導以外に、上手く付き合う方法や対策があれば教えてください。

⇒ カラコンは劣悪なものもあるようで、異変(充血や痛み)があれば、すぐに眼科を受診した方がいいようです。健康被害は結構あるようです。

